再校

江戸砂子

牛込
市谷

四上

和書門
類
二三七七三
號
一〇六
函
九
架
八
冊

内閣文庫
和書
類
二三七七三
號
五四
函
五
架
八
冊

内閣文庫

番號	和 23773	
冊數	8 (4)	
函號	174	28

国立公文書館
National Archives of Japan

浅草文庫

再校江戸砂子温故名跡誌卷之四

古沽涼纂輯
恒足軒再校
冬涉訂正

浅草文庫

豐嶋郡峽田領

十二 牛込　小日向　關口　雜司谷

高田　市谷　大久保

同

十三 四谷　内藤宿　大木戸　多磨郡　中野　同　高井土

佐目河橋　梅檀谷

同郡麻布領

十四 赤坂　青山　澁谷　荏原郡　世田谷

長者丸

牛込方角
沾涼園
冬涼神宮
法明寺
水戸ノ
畑
田
北

番丁
尾ガ崎
小日向
松ケシ
フシ
ミク
北

十二　牛込　小日向　関口　雑司谷　高田　市谷　大塚

別當善竜山成就院

○津久戸明神社　牛込御門の外　祭日九月十九日

当社ハ神田大明神と同社なり元の鎮座ハ田安大明神と云ひしが永享記に太田乃薩摩入道郡三廿万郎の江戸城の乾より氷川大明神の中にあり元和二年今の津久戸山に遷されしより津久戸明神の名あり永享ハ元和より百年もおのゝ永享記ハ久戸明神をいふなり又ハ永享記ハ永享の間に記せるなり

御入國の後ハ津久戸と唱へ永享の頃ハいまゝ田安明神なり又伝説に当社ハ将門の首といへり又赤坂明神ハ将門の首とし津久戸へ葬る時棺より流れ出る血まなこにて赤坂へ行き血首大明神といひ血首ハ久戸大明神と記せる書あり

補

まなこにて赤坂へ行き血首ハ将門伝説なりて近来ハ盛と成り伝説ハ人民おそれ敬ひ貴賤秀郷討のよくなり伝説ハ武列ハ将門の子将軍出来して秀郷の子千晴と合戦し当社近辺ハ強弥の人数を出し人数を出し当社を焼き乃ち焼失し其の前京都へのぼる乃ち焼失し其の前京都へのぼる乃ち焼失し

おそれ近くれなくけるなり大弘大よりの虐悪なれくなり将門のたゝりとなりて社の霊とあがめの霊となりて武ハ社のお供なるべしと

なり将門ハ住の地ハ伝説おそるべき所なり今ハ平なり

の九なりいまの所あり江戸より十里ありの

右の所板のかの山きし古伝なれく改て血首赤坂も拓当の説

あり上野赤坂山なり赤坂ハ将門の又貞盛・秀郷討のよくなりうるハ

陸奥なりおくよりの緑堂ふしやうとえらく

今我一ぬまるくれるなり人貞盛父のあくと報んとの

[illegible]

○筑土八幡宮　日所　別當　松雲山と世量寺

筑土の神と並てこの筑土山にいまし給ふ八幡宮
いてのこの乃代主しの神四年に遷坐給ふの中ごろし四年毎
[illegible]神と筑土神と筑土神と[illegible]
人八幡宮と筑土神と[illegible]里法ないりしに[illegible]
[illegible]白幡一ちきの[illegible]
[illegible]きこと八幡大神[illegible]
[illegible]

○神樂坂　牛の門のむら

市谷八幡の祭礼に神輿牛の門の[illegible]
[illegible]
門前番[illegible]
八幡のかた[illegible]
[illegible]八幡の[illegible]

○逢坂　ゆきの坂の西　○英男坂　重坂の東

[illegible]
武義[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○船河原　むかし大川の河原にて船とつるまりしあし

市谷より大池ありその堤に迄みな坂の下片町し

○堀兼の井　[illegible]坂れふも

里諺に曰徒毋の淵よりその又下に井をかくとそ

はうゝ[illegible]て死[illegible]　佐成て

千載集　[illegible]教[illegible]

むさしの[illegible]の井もあるものをうれしくみなちろ[illegible]

枕草子　井ハはうゝもの[illegible]　ほと武蔵[illegible]

又多摩郡中野のさ[illegible]もかりの[illegible]の井とりあり

堀ノ内の井所々よりあり赤坂御門のうち岡部家中きの内

西の谷よりあるとも[illegible]の井とりあり又近年[illegible]

一書[illegible]

人[illegible]

のこ[illegible]又信[illegible]

[illegible]

○仙臺橋　俗にどんど橋　江戸川の[illegible]

松平陸奥守敷市茶の[illegible]

橋の[illegible]　[illegible]

[illegible]

○敷屋の閘　どんどの下にあり

むしもぞき姑娘より[illegible]

やく敷屋を[illegible]

○立慶橋　おの[illegible]

こなたの中きものの格佐を出て御城のあなたより拝殿に
つも上ることなかれ　ひろ〳〵ハせり〳〵
○御殿山　はるかに山のあ
むこう小日向筆地の附は山とひきて田とうつる北形をと
今もそこうその辺のこれとまうり
○淀渕陽坂　あつ坂のあ
むこうは坂のこなた淀より芝あれあり一ツのあるこうの又
あり野あるの中き六段ばかりらしいつもまうし
水形あるの中きは形なる紀おうのあるうこ
△はるとの奥平年人とは浪人仕りの又
の敵ならして奥平信義夏同和記ならして一数力をあり世
うに五十人ばかりして寛文十二子年二月二日のあうきおし
入るれり年人は他ひし年人のり又本吉半斎入道二男九郎兵衛
かけ合ひとしのへるもはるあ人ともはれ源八方よりわひ

がしありこれをとりたり淀より坂のトまて近るまあいほの
くくとわけより年人あ人とともより雑兵十四五人ばかり近
かけ牛の迎市門の色ばかりを引ひ源八ちる坂
とつて六一入られたる年人源八はつきとて
志ばるとて入えて田町のトはの淀渕八蔵より源八つ
とび入首をとる源八その附十六人米なり牛の市門のお
かるるこれ八朔日の出る附ぐるして付米の人又あり
の後源八ハ記信義ともに伊豆の大海へなげられ
かくまきて淀より坂のかくれらあもちのち流されみより
けるれ中敵えあり
右二人の末孫今ハ代諸家
淀より坂のるお坂の侍より
よちらの寺の本る茶師ハ
ふむ法人くれ行御源
ふ寺仏なりとや梅林坂より牛の八まとつ
元和のはあなりとはれとあ方淀渕陽世界のこなる

ゆハよ茅原よりて浄ら坂といひしとも
○行人坂　俗よゆきもの坂　かゝる坂のまゝ
ゆきもの坂ハおよそ三町ばかり　坂の流れ出るなり
○富士見ヶ嶺　金坂のとむらう嶺あり　今ハ武家屋敷
○若宮八幡宮　小坂の人　別当光明山普門院
山別男山とおゝ　又仁徳天皇とあがめ奉る云
文治五年の秋源頼朝奥州泰衡退治のとき宮殿ありしの
後建立あり云　当社ハ文明の比まで大社にて神殿
なりしありて英雄なりしとぞ
○市ヶ谷河岸　牛込御門のおく武蔵市ヶ谷庄の中き
りしゆへ　おそらく市ヶ谷庄の中にあり
○かるこ坂　かゝる坂とうたひしの間
○大友の松　牛の丑ヶ刻町民家のくらよりたち大友
ゆきハ海松ぎの比し

○草川薬師　茅龍山光圓寺正蔵院　上野末　牛込
開山圓覚律師　太田道灌建立
往古ハ平河梅林坂よりあり　其後田安殿元和の頃又今の比
ようなる当寺なりしハ　ものの比
なるべし　円祝上人佛をあがめて　ここに小台祖師教大師一刀三礼の
茅原伝し海より救うしいひつたへ　円祝ハ緑亨中一宇を
造立ての後太田道灌上杉朝良寄る宗あるゆへ
ての宝印を授よおくむしよりて　牛込の守当寺よりの
○赤域明神社　牛込　上野末　別当赤運山等覚寺
上野国赤域山三夜沢神を勧請あり　上野国
大胡芳陸とゆ人あり赤域とふく信　大胡へ勧請
近戸明神にて今よりあり当社ハその大胡芳陸の末孫
牛込忠兵衛とゆ人先祖の信仰あり　神ちれ上州の
社とうつ　牛込の法ちうて又焼炬と当社の神殿とうつ
日光山記下野国二荒山今日光上野国赤域山の神と二荒乃

神と中の湖中に浮たる地とあり二荒の神八蛇蟒と成赤城の神八蜈蚣と成とあり蜈蚣八神使なるべし
神社は八月十九日隔年遂社旧記八年迄
門の内に基家卿の中一きの石今へたるの方は古木の根あり
社の神小い牛に行れまの陸と云伝えたる昔の熱つもぶれ
○牛込氏の墓　宗参寺にあり
其墓碣は大胡太郎重俊の裔宮内少輔重行武州牛込の
縣より住一その後勝行の代より小笠氏康に属しその地を
名字とし今御幕下牛込大庵主しいと
牛込氏五世の法名宗参大
○氷川社　上のくまよりの
○意崎　氷川の名はあるこの所とも
○金剛寺坂　ちんこちらの
○新坂　又切支丹坂といふ小日向上水のあり

切支丹宗門改役の中一きはしの人坂のあるとも
又切支丹のものとも作吹の味のうちはるに別は宗とを
入さるれ　ゆるるもの　坂は乃はけ　土なるべ
おしこうりとけ面後　ちんぶりのおなし
ちろぶ　いふり切ちんぶ　ひちんぶ　ハ世
○服部坂　彩坂の西　北新坂の中きはしの
○くまやき　横町　弁天のあとと
その坂も土なるす文字も又土なるす
○恵中和尚雙岡西禅菴　茗荷谷
東麓その所とも
○江戸川　上水の北ゆくし関口の左堰ほくわれおる
○目白不動　東豊山新長谷寺　真言　関口
本尊荒沢不動　弘法大師の作　陽成山とあり　大師彫刻
二疋の尊像一疋は荒沢の滝とおなり一疋は山之尊像

中興開基長谷妙音院小池坊秀算僧正
元和四年再興〻〻　〈当寺此の傳あり
〈袈裟掛の榎　本堂のおよあり
緣起曰当寺の西に八野州足利何某の家あり若悪の者ありて
武州豊島郡関口に住人松村氏も若悪の者ありて
ありもまる俗名を出さ言ふ関口の住人松村氏も若悪の者
よりあり　ねハ山よりあ〻〻しの告ありて紙生坂詳石尺る昔
より伝　此地と言の附　苔を生ずる
実れの法御寄捨の附本堂と同寺南の目昌
平〻〻目白〻〻〻　釣命坊〻〻〻
○目白坂　高田町より上る坂と〻坂不動坂とある八非〻
○掃部橋　おとは町九丁目上れ〻〻
○八幡宮　竜泉山洞雲寺持　美濃　関口
上の〻〻〻〻関口の橋　岡山摂津禅師　中興石平和尚
○椿山八幡宮　太同寺持　竜隠庵あり

補

下の宮〻〻祭礼上下隔年にあり　当所椿多〻
〈水神社　同境内より水用〻より　関口水門の号後祀〻
○胸突坂　椿山の麓　同〻の坂河基弱〻〻もあり
○蔦坂　おとは町七丁目の〻〻
○大洗堰　目白の水と上水の大堰〻
○上水　水源八楮沢池より流る至て清潔にて旱魃も涸
る〻〻〻美麗本中より〻〻又玉川もかる〻八助水〻
わ〻人の云　御入国の砌中菓子師大久保永先祖なり〻小石川
上水の〻〻と上る坂より主水と名と下〻〻〻　彼家清〻〻
〻〻〻〻実は〻〻〻此上水の河〻め八古きの〻て前坂〻〻〻
〻の後日と逐〻江戸中繁栄〻て池水〻〻〻〻不足
せるの加る菓麿も中玉川と助水〻〻〻と〻〻〻
玉川小河越の〻より多摩郡（なるふく大河〻多摩郡の
川め〻玉川〻流の玉八六郷（蒲田川〻日本六

玉川のひろそくきさあつ　玉川點　玉川のゝ物
拾遺　玉川よりそよつゝゝよむしの人乃ゑさやけて
牛込　小日向

○禅宗佛閣

○蒼龍山松源寺　妙心寺末　江戸四ヶ寺の中一代紫衣　牛込
開山靈鑑普照禅師名宗丘字蓬山俗ゝ長刀蓬山と云
△聖観音　弘法大師作　山の手三十三所廿二番
俗ゝ寺と猿寺とゝゝむ　境内ゝ猿をつなきあり
○陰涼山済松寺　同末　寺領三百五十石　板丁
開山永南和尚　開基祖心禅尼　此門前ハ文禄の末大友氏住居
の地　寺　先年八幡番地ゝ
△御佛殿　廿日　別當　芳心院　寺仏二十石
△臥龍池　御靈屋の前ゝあり
△靈亀泉　境内にあり　△開山塔　雑春院

塔院　安性院　徳隣院　素光院　素光院
○龍峰山保善寺　甲州　高林院末寺　○福寿山南昌寺　宗祥ち、　戸塚
塔院　盛ち院　○陰ノ山宗伝寺　海松ち、　中里
○龍谷山田中寺　大徳寺末　通寺町
寛永の頃御鷹狩の時ゝ御膳ゝ御茶ゝ
ゝ御休ゝ寺号と仰尋あり定れる
とゝ四方と　御覧あり田の中ゝ
田中山田中寺とゝ八きゝ上意ゝ
○安國山総寧寺　関東曹洞宗僧録三箇寺の一　小日向上水端
開山通幻和尚　寺領百二十石五斗余　総州府台宿寺
元八江州より正親町院御宇天正三年乙亥小田原北條氏改の時
下総小関宿ゝ移ゝの後同ゝ国府台ゝ移
○雲居山宗泰寺　寺仏十石　吉祥ち、　弁天町
開山看栄禅師　牛込氏勝行父重行菩提のゝめ天文十三甲辰年

建立美田四十斛を寄雲居院盛厳大胡大守實翁宗叅大菴主
天文十二年辛丑大胡重行の法名をもつて山寺号〻
重行八秀郷の後胤上野国大胡城主大胡太郎重俊六代の孫之
武州牛込の城を伯を嫡男勝行天文二十四乙卯従五位下を任ぜ
大胡とあ〻め牛込氏とす

○ 夾山寺 吉祥寺末 戸塚 ○陽祥山鳳林寺 曰 牛込
○正覚山宝泉寺 曰 牛込 ○高田山正覚院 往泉寺、 東丁
○桃嶽山龍門寺 曰 曰 ○安寧山清久寺 曰 曰
○久宝山万昌院 上州七年寺、 曰 ○護国山長保寺 武州阿弟寺、 牛込
○起雲山大竜寺 甲州無国寺、 東丁 ○戒珠山松雲寺 北新寺 川田の窪
○南谷山浄泉寺 往寺寺 牛込 ○栄を浄泉寺谷〻
○金谷山宝禅寺 下総東昌寺末 ○高田 寺中 南昌寺
○松慶山宗勝寺 牛込保寺寺 ○秦国山長昌寺 長新寺、 南寺丁

補 補 補

○青龍山林泉寺 白泉寺 曰 ○ 日輪寺 吉祥寺、 高田
○花渓山道栄寺 林泉寺、 曰 ○南栄山清光院 明光寺、 曰
○月海山法身寺 上州川越寺、 東丁 ○関口山永泉寺 四谷天新寺、 曰
○天寿山永昌寺 房州延命寺、 曰 ○妙法山徳雲寺 今割寺、 四谷
○見龍山天徳院 吉祥寺、 牛込 ○ 長光寺 宗叅寺、 大久保
○宝国山長久寺 延命寺、 東丁 ○ 石新寺 曰 曰
○鏡翁山伝明寺 今割寺、 四谷 ○陽鳳山祥雲寺 吉祥寺、 小日向
○恵日山金剛寺 吉祥寺末 曰
開山用山和尚 太田道灌文明年中建立
道俊の末孫なり 又道灌菩提所ハ岩槻の常勝寺なり
当寺新の坂と今割る坂とい〻
○正覚山月桂寺 藤倉国覚寺末 寺仏百乙 川田の窪
当寺ハ元市ヶ谷にありて平安寺なりしを喜連川の菩提所

補　補

明暦乙未喜連川御嫡母月桂院禅尼八十八歳にて辛去菊寺に葬る小石月桂寺と号　墳　松林房　臥竜房

△安産寶珠　是行る氏公共基一所所持の故ありて菊寺の什宝にて小と稱る共雄産の祈ひ平安の産ならや

寺にいひも出産平安の産ならや　三田義合

○　泰雲寺　黄檗

富山鐵禅和尚　中興千山和尚

○天台宗　佛閣

○観音　俗禅懸観音と云　牛頭山千手院行元寺　上野未　香町

開山慈覚大師　寺領十石

本尊千手観音　恵心作　添頼朝寄佛

往古大寺にて惣門八牛込御門の内から坂八中門の西にて九右衛

南天の垂木にて惣門八俗に南天てらといひ寺域内神八別当寺の法ものとり奉納の大般若経今にあり

行元寺法華記にて大永の兵乱に焼失せ塔婆焼せ

○閻魔　高栄山報善院平川寺　上野未　ゆ丁

運慶の作　当寺もと八平川にて

○高耀山三光院　上野未　ち丁　○宝樹山泉蔵院　同　ほこち丁

○堅光山安穏寺　同　同　○善竜山成就院　同　ゆうま丁

○佛来山宝蔵院　同　改代丁　○東光山泉蔵寺　同　白ほ丁

○東曜山宝竜院　同　七ゆう丁　○松雲山宝量寺　同　同

○覚王山妙定院　同　上水丁　○稲荷山長寿院　行えち、改代丁

○松廣山宗清寺　宝泉ち、牛込　○宝光山正智院　上野、小日向

○浄土宗　佛閣

○樹王山光照寺　湯上未　ゆ思、ほほ丁　○光明山大預寺　水思、ほほ丁

○不退山正定院　同　ほほ丁　○一心山専念寺　伝通、水丁

○金剛山大信寺　同　同　○護念山宗因寺　一谷　安養ち、柳丁

○栄松山法正寺　同　同
○中臺山光田寺　同　小日向
○宝国山大泉寺　同　関口
○玉樹山良念寺　小石川　法伝寺、小日向
補　○清水山深光寺　伝通、同
補　○智鏡山大田寺　同　同
○光明山智願寺　和泉、小日向
○安穏山還国寺　同　水戸
○法樹山穏国寺　関口
○法福山浄閑寺　伝通、小日向
○　生西寺　同　同
○紫雲山来迎寺　石谷、牛込

○法花宗佛閣

○本光山清泉寺　中山、赤城
○長久山妙泉寺　玉沢、玉田
○松栄山大法寺　小湊、七ケ浜
○長久山常立寺　平賀、京丁
○　常泉寺　同　京丁
○正栄山佛性寺　中山、玉丁
○一樹山宗柏寺　京　頂妙寺、七ケ浜
○妙法山円福寺　同　牛込
○正定山幸国寺　小湊、七ケ浜
○光栄山浄論寺　池上、七ケ浜

○日縁山長光寺　同　小日向
○如意山壽朝寺　牙延、戸つゝ
○万年山清論寺　不二本門寺、玉田
○長久山本松寺　玉沢、玉田
○本妙山感通寺　小湊、同
○正玄山妙照寺　京妙満寺、又世田
○福徳山蓮光寺　エチコ本成寺、川口窪
○長遠山正法寺　同　同
○妙法山蓮光寺　小湊、音羽丁
○上行山久成寺　京上行寺、川口窪
○法光山久成寺　玉沢、七ケ浜丁
○泉光山蓮花寺　不二門山本門寺末　寺位三十石　関口
○正定山幸国寺　小湊延生寺末　七ケ浜丁

補　右寺ハ加藤肥後守清正の建立ニ日蓮上人の像ハ宇陵より衣服を改ゝ池上より清正の息女阿部家へ嫁せらるる今ゝ故ありて阿部家より寄附ありとそ

○真言宗佛閣

○神齢山護国寺　寺領千二百石　音羽町

本尊馬脳石如意輪観音唐佛　元禄年中本堂御建立あり
前の本尊八弁基の内尊堂にてよあり此地もと八幡茶園
内に御建立のときに茶園八白山へうつる
此本尊八人作なれども独自然の像にて御石の観音と
元禄のなりは前に某石思像と代り本尊築
陪元和尚の作る潮音和尚八肥後農夫の産にて乃頃
上州忍庵に住を前に某に師事の縁あれば此仏像を
潮音あるに潮音又子細ありて奉ら中信仰あさ
終に御茶園を捨て其地に出ると違られ
さて像と安置ありて後玉寺にて
当寺茶師堂のことにあり神農の像八御茶園の時
とあれば不審なりけり

○筑波山護持院　寺領千五百石　内所
始八知足院と云岩井町にあり筑波山の麓寺にて元禄
年中御建立神田橋の外より享保のけ目回禄

補

の後当所護玉寺より仮願あり　石より
開基八和州初瀬寺中西蓮院より伝て山岩井町より常州筑波山
江戸にあり　御帰依にて知足院
の宿寺古来にて知足院
外御堀通武士屋敷新高人
一寺御建立あり元禄山後持院
持堂と御建立あり本堂八釈迦佛と妙音堂
お對に長谷一紙寸言宗の事業を裁判
所にて享保二年正月晦日大災より
護玉寺と半ば
○恵命山田満寺　日　牛也　○明王山西照院　宗泉寺　牛也
○三明山千手院　恵おさ　七ツ下　○蓮花山金乗院　宗仙寺　高田
○稲荷山東光院茶王寺　寺仏百石　護持院末　川田の窪
開山澄覚法印

補

本尊薬師如来八天台四明の洞乃石に彫刻し給ふ霊像
弘法大師の作と貞享の始御幕下須田氏おさめ給ふ
△法守稲荷八太田道灌の勧請と桑の木稲荷のお社と
往古八市谷門の内にあり元和年中今の境内より二町ほど移る
補○　多聞院　真言宗　七堂　○　南蛮院　智積院、牛込
補○松井山龍泉院　真言宗、青羽丁○　観音寺　後ホる、上戸ヶ
補○　報恩寺　門宝、根来寺○　玄国寺　同　大久ホ

○一向宗

○信久寺　東　四谷丁　○太子山法台寺　東　三せ田
○今窓山常教寺　同　牛込丁　○高源山本法寺　同　小日向
○称名寺　西　上水ぶち

○雑司谷

○威光山法明寺　法花宗　寺領十石

開基日源上人　当寺もと天台宗にて開山慈覚大師と
いへり日源上人後世岩本といひし所にて日蓮上人を崇信し
弟子となりしゆへ寺と法華宗とひろめ
△日蓮上人の影像　鎌倉式部卿権僧都の作
○鬼子母神　塔頭東陽坊大行院の持
天正六年日照坊とりあげしとの村よりしゐ当ちよりつ
○六老僧の寺　東陽坊　法明寺地中
六老僧の像あり各日蓮上人の附属
六老僧八
辨阿闍梨　玉沢日昭　白蓮阿闍梨　富士日興
大國阿闍梨　池上日朗　伊豫阿闍梨　真間日頂
民部阿闍梨　茂原日向　蓮華阿闍梨　貞松日持
中老十八人
日源　日家　日傳　日法　天目　日位

日常　日保　日秀　日祐　日得　日弁
日合　日禮　日賢　日忍　日門　日高
○六老僧　中老僧ともふ日蓮上人の附弟子
○九老僧寺　日所　本能寺　日
日朗上人の弟子ゝ
日印　日輪　日善　日傳　日範　日證
日像　日行　朗慶

補　鬼子母神霊験ないちるく奉祀ゝ群をなす此ゝ像
と俗ゝ楠の内ゝ橘正成の女の字なるといふ人の曰先ゝ
やゝゝなき人の拜ゝたゝまゝる像の背ゝ楠女ゝゝあ
ゝゝゝのゝゝまゝしゝゝゝ俗伝もこれゝゝゝ

補　△鷺明神の社　鬼子母神堂のおゝなり疱瘡を
いのゝるゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ大己貴命の臣稲背命なりとゝ
大己貴命醫術を授ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

木のこけむしたる所と見えたる塚あり白狐すむ故に
白塚とも云とも云き塚也あり行しるべ狐塚といふなり
里人のいふ宝泉寺の塚のなまりなり
○姿見の橋　又伊の橋　又推掛橋といふ伊の誤りか
る田上水川よりかゝる長十二間四尺
○落合　三昧　る田の四辺
補 伊の橋より三町はかり川上上水川と雑司谷の細流との間
此所の笹ゆるがせ大し
○七曲　おゝ　多九折の所也
○ちいさな町　嵐山の辺宿所也
補 ○比丘尼坂　中里の南組やきの西辺にて坂也江戸めぐ
つゝれ此坂より江戸図に比丘尼方と記せり所あり是をもつて
やまるとあり延宝三江戸絵図に比丘尼坂とあり其後の図に
比丘尼方とあり又比丘尼坂ともあり

補 ○舟山　中里の四辺にて此所に御茶屋あり寿軒
と号させたる又達観といふ御堂楼もあり
補 ○高田馬場　場所廣し　昔日源頼朝公隅田川合戦の時
利あり此所にて勝ちをえたり
補 ○和田屋敷　同所尾張名所やきの所とも太の所のよう
なるわ尾張名所山中きばの苗田戸山の所中きとも
補 ○鎌倉街道の址　る田の辺場の南尾張名所山中きへ
乃畑の間に幅四五尺ばかりの乃あり里人云往古板橋より流
れ出るのみちといひつたへり
○穴八幡社　る田戸塚村　別当　光松山故生寺
むしの八茂る山にして里人伐ることなしこの松のこと乃
ハ寛永十三年にあるとて所名所記に松木五丈四方直次の与力此所
にて乃の皆古乃しら矢の神ありれハ幡文を勅授せんを願ずれ
山城三羽日毎に来て二本の松を抜よさハ神納文ありて新向ふ人と

[illegible]ちに二本の松と井戸とあり名井戸と号す円十八幸已
年間行国山口八幡の氏人良昌俗称八毛利家の[illegible]
て楼を何某[illegible]道世[illegible]田小[illegible]
御薬園の主にやとせの後中野宝[illegible]
のとえとり[illegible]
ひとそんと地とな[illegible]
穴あり口せま[illegible]
[illegible]
[illegible]
山[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

△芝松　神地のあるひし[illegible]二本の松あり
△放生池　八幡のふもとの池
○毘沙門　天台　禅英山宝泉寺　上野末　三田村
太平記巻三大師の作田原秀郷の守仏とあり
△高田稲荷社　境内にあり
文亀元年本上杉治政の補友良実[illegible]
元禄十五年四月[illegible]
[illegible]
△千[illegible]せの松　神[illegible]
△蜥蜴の池　[illegible]
[illegible]
[illegible]
△富興行　隔月十五日　当時湯島天神社地[illegible]
△当不　社[illegible]

○三國傳来観音　浄土　雨宝山西方寺　増上末　高田
開山亨誉貞義和尚
当寺千手観音ハ弘法大師入唐の時唐青竜寺恵果和尚中天竺の霊像にて授けたまふ所大師ようやくこれを中土に移し給ふ大師拝像ようやく門あり大師拝像ようやく門あり
とあるこの人宗旨明らの頃武州淺草の辺より移し来る
寺のみなもとは開山貞義より授けたまふ西寺の霊像なり
○五智如来　浄土　亀霊山誓願寺　増上末　日下
開山木食本誉上人誓願和尚の作五智の大佛なり
△寺宝のおよそ大なるの様なり
ひさしくおぼえ白沾涼妻の祖父仮沢白栄しいものを西寺の檀越として様一中と拙寺と形ひさしくよりなきと云ふ様に記し殺白ホ様の寺ハも実のもとあるよりこれを看く沾涼功とす

○高田天神　別當真言　天竜山真定院　高田
小野日社と　牛迦天神町ハ高社の明神と大橋立等建立
○落馬地蔵　石仏と　浄土　光明山大願寺　江戸
○紫雲山来迎寺　石仏　○永劫山建勝寺　日　日
○浄因山清涼寺　日　日　○十劫山宗源寺　日　日

市谷　大窪

○八幡宮　別當稲嶺山東圓寺　真言　高野　金量院末　田町上
神体ハ馬上甲冑の坐形　神功皇后比咩神相殿なり
文明年中太田道灌持資江城の乾に相州寺岡八幡と勧請し武城擁護の基とし東寺と建神文別当ハ稲荷大明神社寺より法印
ありしに大永年中の兵乱に破壊せしの後慶長の頃江御城内角奥の室源昌運力とこれを造立す

年々釜くいゝ一の仕況ゝ傳

〈茶の木の稲荷　境内名井の左ゝあり　當山の地主ゝ

伝説ゝ當山ゝ白狐ありあやまりて茶の木を用ゝ実ゝ成ゝ故ゝ

茶といむゝ此神の氏子正月二ヶ日人ゝ茶とのまゝ又

眼とゝ病人もの一七日二七日茶とゝもて祈ひめれゝす

ゝ病ゝ験ありゝ以四信仰今ゝ盛のゝ

此ゝ平堆の芝ゝ生て行ゝ人ゝ小

拝ゝ有ゝ信者ゝ多ゝ　御入国の後小栗又市殿

栗原ゝ小ゝ小ゝ其外甲賀組の屋敷ゝ

明暦ゝ二年尾張ゝ成敗ゝ進ゝ甲賀ゝ但ハ牛ゝ此ゝ

つゝ此ゝ八幡ゝ社ゝ縄張ゝ土人ゝ系統ゝ

所館外ゝ世ゝ

○愛敬稲荷社　別當清雲山無本寺教蔵院　末言　田町上

元市谷八幡別當の祭ゝ

ゝ茶ゝ稲ゝ行ゝ

八幡別當ハ故ありゝ言野山金剛院ゝ属ゝ今ハ古義ゝ

當院ハ茶のゝ

慶長年中近江国助七ゝ娘ゝ平ゝ

ゝ小ゝ新田氏ゝ嫁ゝ人ゝ孫ゝ

前板ゝ

○左内坂　市谷所門のゝ

當所の名ゝ

○甲良屋敷　左内坂の近ゝ

○万昌院旧跡　左内坂ゝ

院ハ上別長年寺末の浄土ゝ

ゝ又ゝ

○長延寺谷　左内坂の小ゝ

の町ゝ

補　補　補

○左内坂ゝ

ゝ

ゝ

補

為新田の名ゝ為ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

補

祈願遊客ハ此所ニ多く参詣ス高野山ハ高野山ニ比シ高山ニ比シ高川御
殿山日蓮宗の花形ハ江戸の人多し

○大窪天満宮　聖護院派　別當梅松山五大尊寺大聖院
北野同社に　東北の神祠なりと云一名東の天神と云来由
とも云又西向の天神と云ふ社西に向ひの伝語なり
法華ハ人皇八十五代後堀河天皇安貞年中　明恵上人
勅請　大僧都法信中興　別當大聖院ハ聖護院末
門跡直末天皇宗家正大先達　寺山派の江戸役所
なり前に高ハ松緑山梅香院と号し　隔年
大窪の祭礼九月廿五日
七面の社　江戸内乃ものなり

○大窪稲荷社　別當　二尊院　七面寺の町屋
弁才天と　相殿に

○梅の木　新宿村十淵所のなり谷へ出る坂

補

○こうがい坂　谷村のうち四谷小寺町へ出る坂
左右茂林あるゆへ此の名と云　この大坂とハ云あり

補

○牛小屋　七軒店　市谷より四谷へ　江城御菜乃
ゆへ牛を引る石垣の下を引る牛と紫ゆへ　一説ハ
御上洛のとき御車の牛をとゝめ置ものなり

○諸宗佛閣

○七寶山藥王寺　黄檗派　市谷元町
当寺ハ高言宗に退轉し茅庵となりしを元禄の比
黄檗度雪和尚再興ス　寺領十八養ものの比各寺領
前板に御朱印百石ありて寺料ハ御帳面にもあれども本絶
後なり　ハ格式なりしなり　これ板の伝なり
市谷の茅寺同名二ヶ寺あり　高言寺乃
ゆへ　江戸物語に　寺の茅寺乃
ありしと　後世和尚等集ハ信州の産なり

武田典厩の女の孫すゝきまたゝ曲厩の外孫と同ホ小
諸曹洞宗海音院にて剃髪後ハ芙蓉宗ホ江戸へ
出ゝ五の方と称し寺ニ世人ゝと称ハ故ありゝ成
ゝき御ゝゝと数年の母体又ハ二の德あゝゆへ
孫ゝ御免ありゝ江戸八ヶ所ゝ寺世ゝの元祖
寺ゝゝゝの青山海蔵寺保川万祥寺おゝの母と傳ゝ
和尚後ハ保川海福寺と位持ゝゝ

△一木薬師　第ニ寺境内ハ大論の像ゝゝ
セゝ赤坂ひゝゝ木ハ行ゝ行基一寺のゝゝゝ

○清光山林泉院安穏寺　浄土　知恩末　谷丁安吉坂
開山心蓮社深誉上人貞ハ天正二甲戌起立
高岳八ヶ谷領富士人坂ゝ今尾州作鍛ゝかゝ
氏富士人坂ゝよりゝゝ林のゝゝゝ出ゝゝゝ
かゝゝゝ小窟あり深誉ゝゝゝの

白狐出ゝ礼ゝなす深誉の云ふ所の一精舎ゝ造立
せゝ可なゝんや白狐ゝゝ穴ゝ入地ゝ浴田氏ゝ地
ゝゝゝ出ゝ来ゝ一宇建立成就す　御入国後府
内御巡行の節御膳とかけさせゝゝ時醤ゝ商年尾州の
御鍛ゝなりてゝの祝ゝゝ世秀吉ゝ京の付ゝ

△稲荷社　境内ゝあり富士の祐ゝ
万治元年正月碧の廻白衣の老翁ゝゝ
稲むゝや弟ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ白狐ゝなりてゝ去ゝ来ゝ
二人仮ゝてゝゝゝ白狐ゝゝゝゝ
かゝゝゝ建立ゝのゝ田玉宮ゝゝ
ゝゝふゝ信ゝ　ゝ祝の告ゝゝ大栄ゝゝ

△八幡宮像　雲別の城主尼子伝孫ゝ経久城内祭ゝ

△八幡宮地佛　行西陀　定印作　治安元年　勅命ゝゝ

造立其後月輪殿下兼実公の家より改わりて尼子経久の法
ち八幡の本地仏となる八幡縁起尼子氏系譜あり
△阿弥陀佛　立像三尺三寸　惠心の作　京三条堂上の佛と同体
天長年中慈覚大師江州苗鹿の神より授かり毎日
光あり折々ゝ本の国より仏舟わりその本一片を以て阿弥陀を彫刻
したる日吉三宝仏書の本尊と称する一片八幡宮の本尊と夏毎年
と称して惠心僧都霊感を蒙り其條末にて此像を彫刻し
△引接弥陀　惠心の作　△法性寺後光佛　後宍僧都の本尊
△地蔵菩薩　定朝の作　洛陽壬生同木
△弁才天并十五童子　弘法大師護摩一万座の灰を以て造
△海照観音　ひゝ夜毎に海中より一道の光りあり海士
多中の陽あるゝてくつき上る由寺まるおらし
○口称山経音寺　四谷西迎ちまち　市谷　○寿念寺　弘田、　大クボ
○法花宗

○蓮紹山惠光寺　ゑびす寺院　寺中　栄昌院　歌門院　一谷東丁
○久栄山蓮秀寺　ゑびす、　ちゝ丁　○蓮花山妙典寺　不二妙きちる、　ちゝ丁
○大乗山経王寺　平岩、　東丁　○如説山修行寺　平賀、　まんちゝ谷
○一向宗
○白鳥山善慶寺　東　まんち谷　○張法寺　東　同
○長蔵寺　同　南ちゝ丁　○受雲山浄栄寺　西　南ちゝ丁
○禅宗
○陽光山道林寺　妙心、　一ヶ谷　○万兎山東長寺　後奥ちる、
○万昌山長延寺　汐家　出手ちゝ、　谷丁　○永昌山宗泰院　汐ヶ谷　万松院　同ちる四　左内坂
○富聚山長竜寺　同　小机　雲松ちゝ、　左内坂　○渋谷山泗雲寺　宗後ちゝ、　同
○鳳仙山長泰寺　同　長法ちる、　同　○天長山永昌寺　同四谷　渋昌ちゝ、　同
○真言宗
○七星山光徳院　護ちゝ、　柳丁　○永福寺　牛コヽ　万昌ちゝ、　大クボ

赤坂
紀州殿
麻布
日枝
糀町
四谷
大番丁
尾州殿
尾州ノ御ソヘ地
牛込
三田
宮ヶ谷
大久保
中野
畑
田
沽涼國冬澄神宮
北

市谷四谷方角
畑
中野
大久保
田
沽涼國冬澄神宮
北

十三 四谷

肉藤宿　大木戸　新宿　中野
佐目河橋　千日谷　千駄谷　高井土

○四谷と云、千日谷　茗荷谷　千駄谷　大上谷の四谷(タニ)と
前板右のあらましも千日谷、御入国よりけうの後よ呼ぶ
名くむ名よかりしに、いつ頃此条も谷ハ多く四谷ハ古名
名ゆゑ、山縁天正まて、ハ此辺すべて霞村といひ、ゆゑ、古花よ
あんあ、又一説仕古むさ、みく続て東西こいつれのあらうまあ
四つあ、れ四家、いひ、う、、此数多、れ実とすへくや

補

○四谷御門　麹町十丁目よりあり此御門の外と四谷とり
十一丁目十二丁目十三丁目八此所沛堀よなり御門、てさせれ
しとき代地と御門外よてトされ三丁ハ四谷のうちよなる

補

○紀伊国坂　紀州御館の北のうち坂と
前板右のあ、今八赤坂へ下る方南の坂とき たりうと

補

○間(かん)の馬場　仲条町より南汁堀ほうの通とりうしや

国立公文書館
National Archives of Japan